

分野連携企画報告書

行事（企画）名

日本循環器学会・日本機械学会ジョイントセッション

行事URL <https://www.jsme.or.jp/conference/bioconf23/>,
<https://confit.atlas.jp/guide/event/jsme2023/top>, <https://www.congre.co.jp/jcs2024/>

1.開催日・会場 2023年6月3-4日・仙台市, 2023年9月3-6日・八王子市,
2024年3月10-12日・神戸市

3.企画内容

日本機械学会と日本循環器学会は、2016年に医工学連携事業推進を目的とした相互連携の覚書を双方の会長名で締結し、双方の主講演会（日本機械学会年次大会、バイオエンジニアリング講演会、日本循環器学会年次学術集会）にてジョイントセッションを開催してきた。本企画では、日本循環器学会から数名（基本的に医師、医学系研究者）を日本機械学会主催の講演会に招待し、日本機械学会からも日本循環器学会側の講演会に数名を派遣し、合計3件のジョイントセッションを実施した。

4.連携の成果

バイオエンジニアリング部門、流体工学部門および医工学推進テクノロジー推進会議からWG委員を選出して本企画のWGを構成した。WG会議をオンラインおよびメール審議で行いジョイントセッションをサポートした。

日本機械学会側の講演会では、第35回バイオエンジニアリング講演会(6/3-4・仙台市)でオーガナイズドセッション「循環器医療とバイオエンジニアリング」および年次大会(9/3-6・八王子市)でワークショップ「循環器疾患の治療デバイス・治療法の進展と工学への期待」を、また第87回日本循環器学会学術集会(3/10-12・神戸市)では両学会のジョイントセッションを、それぞれ開催して成功裏に終了した。

2.企画部門

バイオエンジニアリング部門／流体工学部門／医工学テクノロジー推進会議／日本循環器学会

5.今後の課題（苦労した点、課題点、他の企画へのアドバイス等）

日本機械学会と日本循環器学会のジョイントセッションを分野連携企画としてサポートする試みは、今回が初めてとなった。既に個別に準備が進んでいる中でも、本企画のWGのサポートがジョイントセッションの円滑な開催に役立った。

講演者に選定については、予算や開催地の条件で難航する場面があった。これについて、本企画による異部門の連携を長期的に行うことで改善が見込まれる。今回の企画では、本分野連携に初めて流体工学部門に参画いただき、2部門および推進会議との間で、本連携活動に対して従来よりも幅広い議論を行うことができた。その結果の1つとして、関連深い部門から本企画に随時参加いただくことが重要との共通認識を得た。この認識に基づいた本企画の活動は、機械学会内外の連携を促進し、融合分野の創出に少なからず貢献していくものと考えている。